

「国勢調査100年記念展 近代広島における豊かさと働き方」展示資料一覧

主催・会場：広島市公文書館 会期：令和2年9月23日(水)～11月27日(金)

番号	資料名	内容等
1	国勢調査ニ関スル法律【複製資料】	国勢調査施行の根拠となる法律。明治35(1902)年制定。原本国立公文書館所蔵
2	国勢調査ニ関スル法律(明三五法四九)ノ昭和二十年ニ於ケル特例ニ関スル法律【複製資料】	昭和20年の国勢調査の中止を規定した法律。昭和20(1945)年制定。原本国立公文書館所蔵
3	「安芸郡温品村人馬御改目録」(温品村5483)	文化7(1810)年に作成された温品村(現東区)の人口や馬の頭数等を報告する文書
4	安芸郡温品村戸口・人口出入・郡内他町村出入寄留 (「統計表進達跡」温品村2827)	「統計表進達跡」は、明治23(1890)年に温品村役場から郡役所に報告した統計の控え綴。展示資料は、明治22年12月31日現在の戸数・人口出入等に関する統計
5	『広島市統計年表 第22回 大正15・昭和元年版』【複製資料】	昭和3(1928)年に広島市が発行した「広島市統計年表」の現住戸数・現住人口に関する部分の写し。
6	日誌 (豆田家資料64)	東原村(現安佐南区)在住の沼田高等小学校生徒の日誌(明治25(1892)年9月～11月)から9月分
7	戸坂村きよ (『芸備孝義伝 三編 沼田・安芸 巻五』)	広島藩の孝子(親孝行な子)や義人(正義を守る人)のエピソードを集めた『芸備孝義伝』(天保14(1843)年頃刊行)の中から、戸坂村(現東区)の孝子「きよ」の部分。母の介護のため離婚して実家に戻ったきよが、母とともに農家の副業として「糸ひき」「機織(はたおり)」をして木綿を生産する場面を紹介
8	竹を運ぶ少年【写真】	竹は当時籠、行李(こうり)、簾、竿竹等の日用品の原材料や農作業の道具として活用されていた。昭和31(1956)年 飯田邦夫撮影
9	広島太田川上流(日通寺付近)【写真】	現東区牛田新町付近の風景の絵はがき。帆を掲げた川船や渡し船らしい小舟が写っている。大正期頃撮影
10	腸チフス予防ニ関スル件回答 (「庶務一件 衛生ニ関スル書類」温品村3946)	東警察署宛の消化器系伝染病(主として腸チフス)に関する調査の回答。当時し尿は肥料として活用されており、温品村(現東区)のし尿を汲み取った人の氏名と、広島市内の汲取先の町名、氏名、職業等が記載されている。昭和11(1936)年12月11日付
11	助役認可稟請 (「伺上申指令連年綴」中野村3556)	中野村(現安芸区)の村長から広島県知事に宛てた中野村助役任命の認可を諮る文書。大正14(1925)年11月30日付
12	歎願書 (「請願並ニ歎願書綴」中野村3562)	中野駅(現安芸区)の始発列車の発着時間が1時間遅くなることに伴い失業者が発生するため、貨物列車に客車を接続して運行することを求める嘆願書。中野村長から門司鉄道局長に宛てたもの。大正15(1926)年9月24日付
13	『昭和五年 国勢調査報告 第4巻 府県編 広島県』	昭和5年に施行された第3回国勢調査の結果を府県別にまとめたもの。昭和10(1935)年 内閣統計局発行
14	(グラフ)産業別人口の構成の変化(中野村、男性)	大正9年、昭和5年及び昭和25年の国勢調査の報告書をもとに、中野村(現安芸区)の男性の産業別人口構成をグラフにしたもの
15	草津にて 蒸気機関車【写真】	山陽本線を走行する蒸気機関車の写真。鉄道脇に狭い道路が写っている。昭和11(1936)年 渡辺襄撮影
16	安芸大橋開通式【写真】	現在の安芸大橋より上流に架けられた初代安芸大橋の開通式の写真。昭和27(1952)年 飯田邦夫撮影
17	「現勢調査簿」 (船越村214)	「現勢調査簿」は、明治42(1909)年に制定された「現勢調査簿ニ関スル規程」に基づき、地域の状態を正確に把握しその運営に役立てるため、各市町村において調整された。これには船越村(現安芸区)の明治40(1907)年～大正7(1918)年までの状態が記録されている
18	『新町建設計画書』	安芸町(現東区)は昭和31(1956)年、温品・福木の2村が合併して成立した。これは、安芸町が新市町村建設促進法に基づき、合併後の産業振興や福祉の増進等の方向性を示すために作成した計画書。昭和33(1958)年 安芸町発行

番号	資料名	内容等
19	死亡者年齢及病類別表 大正四年度 (「統計諸表類 大正五年度」温品村2850)	「統計諸表類」は、大正5(1916)年度に温品村(現東区)から安芸郡長に提出された統計の控綴。死亡者年齢及病類別表は、年齢別に死亡原因をまとめたもの
20	『広島県年報 明治43年版』【複製資料】	明治45(1912)年に発行された『広島県年報』から、明治43年の死亡者数とその原因を年齢別にまとめた「現住人死亡者年齢別」を紹介。明治45(1912)年 広島県発行
21	流行性感冒予防心得 (「雑件記録綴」大林村(中原村)3830)	大正9(1920)年頃、中原村役場(現安佐北区)が作成した印刷物。流行性感冒の危険性と細かな対応方法がまとめられている
22	「壮丁名簿 明治廿四年ヨリ」 (温品村4450)	温品村(現東区)において明治24(1891)年～27(1894)年の間に行われた徴兵検査結果やその後の軍歴等を記載した個票を綴じた簿冊
23	(グラフ)徴兵検査時の身長分布(温品村、明治25年～29年)	温品村(現東区)の「壮丁名簿」を基に、明治5(1872)年2月～同10年1月生まれの村民男性のうち、徴兵検査を受けた80人の身長分布をグラフにしたもの
24	『昭和十年徴兵検査成績』 (温品村4578)	昭和10(1935)年度に実施された各市町村の徴兵検査の結果から、県が体格、学力修養状況、職業別状況、分布状況等を調査してまとめたもの。平均身長も記載されている。広島県作成
25	学齢人員 (「統計表進達跡」温品村2827)	温品村(現東区)内の学齢児童の修学状況(就学者・卒業退学者・未就学・未卒業退学者数)を報告する文書。明治23(1890)年1月25日付、安芸郡長宛
26	申告書記入例示 (谷口盛行資料6)	大正9(1920)年の第1回国勢調査で使用された申告書の記入例
27	2020年国勢調査 調査票の記入例	今回の国勢調査調査表の記入例(WEB出力)
28	第2回国勢調査(大正14年)の調査票 (「大正十四年度 国勢調査施行令」大林村2496)	大正14(1925)年の第2回国勢調査の調査票。当時の官報に掲載されていたもの
29	国勢調査申告書様式の比較(パネル)	大正9(1920)年と令和2(2020)年の調査項目を比較したもの
30	「大正十四年度 国勢調査施行令」 (大林村2496)	大林村(現安佐北区)の大正14(1925)年の第2回国勢調査に関する一件綴。関係する官報や県報、安佐郡役所からの通知、国勢調査方法ニ関スル質疑応答等の一連の文書が綴られている
31	「昭和十五年 国勢調査書類一件」 (温品村2879)	温品村(現東区)の昭和15(1940)年の国勢調査の事務一覧表、関係法令を告示する官報、県の臨時国勢調査部長からの通知等をまとめた綴。時勢を反映して現役軍人や応召軍人等の調査に関して定めた要項も綴られている
32	国勢調査員選定内申書 (「昭和15年 国勢調査書類一件」(温品村2879)	温品村(現東区)の第5回国勢調査の国勢調査員選定について県知事に内申する文書。昭和15(1940)年6月28日付、温品村長発広島県知事宛
33	『大正9年 国勢調査報告 府県の部 第33巻 広島県』	大正9年に施行された第1回国勢調査の結果を府県別にまとめたもの。大正15(1926)年 内閣統計局発行
34	国勢調査の正確は国民の協力に依る【ポスター(複製)】(谷口盛行資料19)	国勢調査への協力を呼び掛けるポスター。大正9(1920)年、広島県作成
35	国勢調査【ポスター(複製)】 (谷口盛行資料16)	国勢調査の目的・調査項目・調査方法等を具体的に示して市民へ協力を呼び掛けるポスター。大正9(1920)年、広島市作成
36	国勢調査日(申告の方法に不審なきか?)【ポスター(複製)】(谷口盛行資料17)	国勢調査の日時を周知するポスター。大正9(1920)年、広島県作成
37	国勢調査趣旨普及宣伝票 第1号 (谷口盛行資料12)	国勢調査の趣旨、日時、調査事項、注意点等を告知するチラシ。大正9(1920)年、広島市作成
38	宣伝 第二回 (谷口盛行資料13)	国勢調査の趣旨、日時、調査事項、調査方法を告知するチラシ。大正9(1920)年、広島市作成